[認知症対応型共同生活介護用]

評価結果概要表

作成日　平成21年5月15日

【評価実施概要】

事業所番号	第0177600384
法人名	有限会社ふれあい
事業所名	グループホーム樽川ふれあいはうす
所在地	〒061-3205　石狩市樽川3条2丁目97番地 （電　話）0133-75-1167

評価機関名	特定非営利活動法人　福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060-0061　札幌市中央区南1条西5丁目7　愛生舘ビル601B		
訪問調査日	平成21年5月15日	評価確定日	平成21年6月2日

【情報提供票より】（　21　年　4月　25日事業所記入）

（１）組織概要

開設年月日	平成　17　　年　　10　月　31　　日	
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計　　18　　人
職員数	17 人	常勤 14人，非常勤 3人，常勤換算 1.8人

（２）建物概要

建物構造	木 造 2階建ての1～2階部分

（３）利用料金等(介護保険自己負担分を除く）

家賃（平均月額）	38,000　　円		その他の経費(月額)	水光熱費2,0000 円
敷　　金	有（　　　　円）　　無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有（　　　　円） 無		有りの場合 償却の有無	有　／　無
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり　1,000　円			

（４）利用者の概要（平成21年4月25日現在　）

利用者人数	18 名	男性	6 名	女性	12 名
要介護１	5名		要介護２	5名	
要介護３	6名		要介護４	1名	
要介護５	1名		要支援２	0名	
年齢	平均　82 歳	最低	67 歳	最高	93 歳

（５）協力医療機関

協力医療機関名	石狩病院　花川医院　宮の沢ファミリークリニック　フジイ歯科医院

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは手稲連峰が眺望できる閑静な住宅街に位置している。近隣には公園、小学校、商店があり利便性にも恵まれ、法人系列事業所が近くにあることから互いの協力関係が期待できる。建物は利用者の安全と自立、介護者の動きを考慮した造りになっており広くゆとりがある。施設長、管理者、職員のコミニケーションが良く、職員は穏やかに利用者に接し、利用者の表情は明るい。記録やマニアルもよく整備されている。近くの小学校が空缶のリングプル収集を行い車椅子をホームに贈呈する等地域とは良好な関係が構築されている。「ゆっくり、一緒に、楽しく」の理念の基に質の高いサービスを行い家族や地域からの信頼の厚い期待されているホームである。

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況（関連項目：外部4）
	前回評価の課題であった・災害対策についての地域へのはたらきかけ・職員異動による利用者への配慮については、管理者はじめ職員全員で検討し改善されている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4）
	今回の自己評価は管理者はじめ職員全員が評価の意義や目的を理解し、話し合いを重ね、現状分析を行い検討し職員間の共有をはかり実施している。職員の意識向上やサービスの見直しに活かされている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6）
	運営推進会議は行政職員、地域住民、利用者代表、家族、施設経営者、職員参加のもと2ヶ月に1度定期的に開催され記録されている。会議では、ホーム運営内容、行事、利用者の生活状況、災害時対応、研修、外部評価、ヒヤリハット事例等について報告・協議されている。会議の内容を活かして、事業所運営や日常業務のサービスへの取り組みがなされている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8）
	意見箱を設置し苦情担当機関の明示をしており、家族来所時にはできるだけ話を聞くように配慮している。「たより」を毎月発行し写真入りで利用者の生活状況や行事を伝えている。家族の運営推進会議への参加を呼びかけ、家族の意見・要望は職員会議等でもとりあげ事業所運営に反映させるように努めている。
重点項目④	日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）
	町内会に加入し道路花壇の手入れや清掃、祭りに参加している。回覧板に通信を掲載し避難訓練等への参加協力を図っている。地域の保育園から折り紙の作品をプレゼントされたり、利用者達が中学校へブラスバンド鑑賞に出かけている。グループホーム合同夏祭りでは地域の人々が多数参加し、ホーム関係者を含めて総勢250人で開催される等、地域との交流は活発に行われている。

評 価 結 果（詳 細）

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項　　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を理解し住み慣れた地域の中で「ゆっくり、一緒に、楽しく」その人らしく暮らせるように事業所理念を策定し、日々理念に沿ったケアの実践を目指している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は新人オリエンテーションや会議に於いて理念について話し合い、日々のケアの場面でも確認している。見やすい場所に理念を掲げ、職員は理念をネームプレイトの中に入れ携帯し、実践に向けて取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し清掃や花壇の手入れ、祭り等の行事に参加している。地域の保育園から折り紙のプレゼント、小学校からはリングプル収集での車椅子を贈呈されている。ホーム合同夏祭りは、地域の人々の参加協力があり利用者職員を含めて250名の盛況であった。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は自己・外部評価の意義を十分に理解しており、全職員で自己評価を行ない管理者がまとめている。外部評価結果は会議で検討し改善をはかり、サービスの質の向上に繋げている。		

外部評価	自己評価	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月ごと定期的に会議を開催し記録している。市担当職員、町内会役員、利用者家族ホーム関係者等の参加がある。会議ではホーム運営や行事、防災、外部評価等について報告・意見交換され、討議された内容はサービスの向上や施設面の改善に活かされている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者とは、市や関係機関で実施している会議や研修会に出席する中で情報収集や意見交換を行っている。日常的にも行政と連絡をとり合い、共にサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4．理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回定期的に「たより」をユニットごとに発行してホーム行事や生活ぶりを写真入りで家族に伝えている。金銭管理は小遣い帳のコピーとレシートを送り確認している。個別には電話・面談等で健康状態等を報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃から家族が話し易い雰囲気づくりに努めている。玄関には意見箱を設置し公的苦情相談窓口の明示をしている。運営推進会議に家族参加を呼びかけ、意見・要望等についてはホーム運営に反映されるように行っている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職や異動があった場合は職員が利用者へ配慮してケアしている。異動は同法人グループホーム間で行われる場合が多く、合同行事等を通じて他のホーム職員と馴染みの関係が保たれていることがあり、ダメージは少ないと考えられる。		

外部評価	自己評価	項　　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は施設内外の研修会の参加を職員によびかけ働きながスキルアップできるよう進めている。研修結果は会議で発表し内容を記録保存して共有を図っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のグループホーム連絡協議会に参加し、ネットワークつくりや研修会に参加している。同法人のグループホームとは互いに訪問し交流を図り、合同行事や研修を行うなかでサービスの質の向上を図っている。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 **1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応**					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に本人や家族がホーム見学や、行事参加を行ない雰囲気に馴染めるように配慮している。職員が家庭訪問して利用者の生活状況を聞いたり、ホームの説明を行う等して安心してサービスを利用できるように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は本人の喜びや悲しみ等の思いを共有し互いに協働しながら人生の先輩として得意分野で力を発揮してもらえるように場面設定や声かけを行っている。		

外部評価	自己評価	項　　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント **1. 一人ひとりの把握**					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は、個々の思いや意向を、日頃の言動や家族を通じて十分に把握するよう努めている。把握困難な場合は、家族や関係者間で情報交換を行い本人の視点にたって本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の意見要望を取り入れ、ケアマネージャーを中心にして医師、看護師等関係者を含め職員全員で意見交換を行い、個々の心身状況、生活能力を把握したうえで介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に介護計画の見直しを行っている。状況変化時には変化の原因把握に努め、本人や家族の意向を聞き関係者と検討して現状に即した計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の要望に応じて病院や理美容店への付き添い送迎支援を行っている。同法人の障害者グループホームからの手造りパンの購入等、法人の多機能性も互いに利用して柔軟な支援がなされている。		

外部評価	自己評価	項　　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者希望のかかりつけ医には家族対応が難しい場合は職員が代行して通院支援を行っている。提携医療機関による月2回の医師の往診、通院が随時行われており、ホーム看護師が配置され常に適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や看取りの方針を文書化しており、入所時に家族から同意書を得ている。重度化した場合は医師や家族と話し合い、本人、家族の希望を尊重しながら、ホームとしてでき得るかぎりの最善を尽くして行っている。		
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 **1．その人らしい暮らしの支援** **⑴ 一人ひとりの尊重**					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りを大切にして職員の言葉かけや対応に配慮している。個人情報については書類管理等に細心の注意を払い適切に行なっている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての基本的な1日の流れはあるが、一人ひとりの意向や気持ちを把握して、体調やペースに配慮しながら、できるだけ希望に沿うよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
⑵ その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を利用し、利用者の意見や好みを取り入れて献立を作成している。調理、盛り付け、片付け等を共に行い、共にテーブルを囲み食事をし、食事が楽しみとなるよう支援している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な入浴日は決められているが、一人ひとりのペースや希望を尊重して入浴が楽しみとなるように支援している。入浴できない日は足浴などでも対応している。		
⑶ その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や希望、持てる力を考慮して役割や楽しみ事があるように場面つくりをしている。(食事の下ごしらえ、調理、味つけ、後片付け、畑仕事、花壇手入れ、洗濯干し、裁縫、掃除等)		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	戸外への外出計画が年間行事の中に多数盛り込まれている。日常的には近くの公園への散歩、菜園つくり、買い物等一人ひとりの希望に沿って出かけられるように支援している。		
⑷ 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中鍵はかけていない。職員は外出の様子を察知するとさりげなく声をかける等して見守り、利用者の安全に配慮しながら自由な暮らしができるように支援している。		

外部評価	自己評価	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
27	71	○災害対策 　火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回消防署の協力のもと避難訓練を夜間も想定して行っている。避難経路の確認、火災通報装置、消火器の使い方の確認等、利用者を交え実施している。地域には避難訓練実施のポスターをポスティングして参加をよびかけ協力を得ている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 　食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの1日の食事・水分摂取量を記録し確認している。職員の中に栄養士・調理師の有資格者がおり栄養バランス、カロリー、嗜好、食感、健康状態を考慮した食事提供を行っている。		
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 　共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関・窓には観葉植物や季節の花鉢が置かれ室内は広く清潔で、居間から外庭に続くウッドデッキからは四季折々の景色を眺めることができる。浴槽は三方から介助できるよう設備されており、エレベーター、手摺等各要所に利用者への安全配慮が施されている。温湿度、換気も理想的で居心地が良い。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 　居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、トイレ、洗面台、クローゼットが設置されている。馴染みの家具やベツトを持ち込み、プライバシーや自立心を尊重して安全に居心地良く過ごせるように工夫している。		

※ ■ は、重点項目。